



令和6年度当初予算のポイント

テーマ **GDW加速化予算** ～持続可能な市川三郷町の実現に向けて～

予算規模 **93億514万円** (一般会計)

3つの
ポイント

1. 行財政改革推進計画の具体化

2. 健全な財政運営に向けた予算編成

3. 将来に向けた積極的投資の実現

ポイント1 行財政改革推進計画の具体化

(1) 新たな取り組み

- **地域公共交通計画策定事業 (6,934千円)**
地域公共交通体制の抜本的見直しを図るため、地域公共交通計画を策定
- **小中学校適正規模・配置検討委員会設置事業 (214千円)**
教育環境の充実強化を図るため、適正規模・配置等を検討する委員会を設置
- **防災行政無線機能強化事業 (369,000千円)**
災害時等における情報伝達手段の強化を図るため、防災行政無線を更新

(2) 事務事業の抜本的見直し

主な取り組み

- **人件費 (▲48,103千円)**
正職員 (195人→193人)、会計年度任用職員 (171人→153人)
- **大門碑林公園管理事業 (▲3,911千円)**
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業 (金・土・日(祝日))
- **ふるさと会館・歌舞伎資料館管理事業 (▲5,731千円)**
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業 (金・土・日(祝日))
- **ニードスポーツセンター管理事業 (▲7,534千円)**
- **つむぎの湯・いきいきセンター管理事業 (▲34,127千円)**
- **シーリングによる一般財源負担の抑制 (▲314,185千円)**

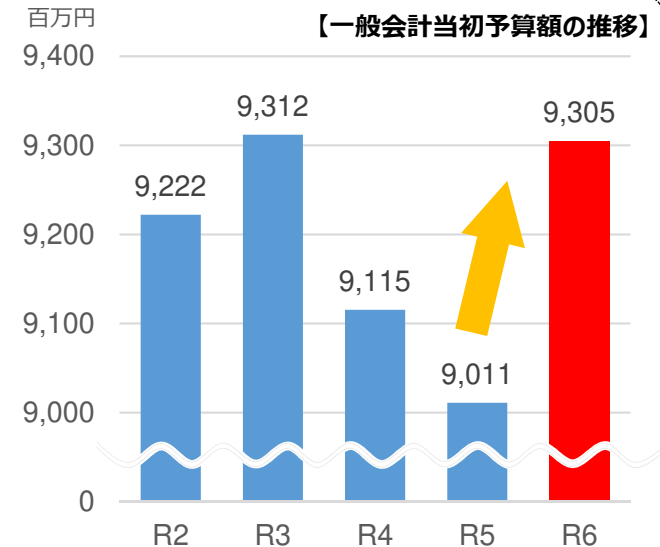
➡ 縮減経費をもとに将来への積極投資を実現

ポイント2 健全な財政運営に向けた予算編成

予算規模 (一般会計)

積極的な財源確保や事務事業の抜本的見直しを行うことで、町民負担を抑制しつつ、**これまで実施できなかった新たな事業に着手**

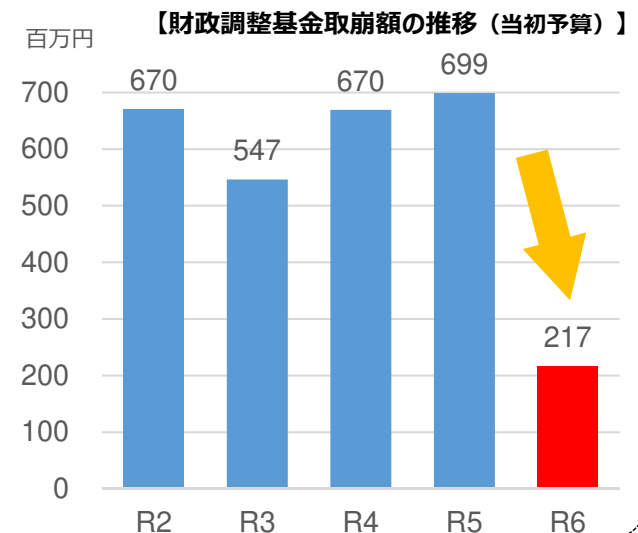
R5 9,011百万円
R6 9,305百万円



財政調整基金の取崩額

さらに、**財政運営の持続可能性を確保するため取崩を大幅に抑制**

R5 699百万円
R6 217百万円
(▲482百万円)



※ 執行段階で更なる負担抑制を目指す

地域活性化施策の強化

- ④ 第3次総合計画策定事業 (10,195千円)
- ⑤ 六郷IC周辺基盤整備事業 (18,227千円)
- ⑥ 役場前線及び役場前南線整備事業 (4,700千円)
- ⑦ 青洲高校との協働による地域活性化事業 (50千円)



GDW 加速化予算

新たな時代のニーズに対応した
新規・拡充事業を積極展開



高齢者支援の推進

- ⑧ 地域公共交通計画策定事業 (6,934千円)
- ⑨ 健康ビジョン加速化事業 (パッケージ) (8,721千円)
- ⑩ シニアライフ応援コーナー設置事業 (2,000千円)
- ⑪ 生活支援体制整備事業 (538千円)



民間活力の活用

- ⑫ 市川三郷町応援団ネットワーク事業 (1,045千円)
- ⑬ 市川公園MTBフィールド整備事業 (10,300千円)
- ⑭ 峡南ネクスト共創会議観光振興推進事業 (2,266千円)
- ⑮ オマーン大使館との交流事業 (135千円)



安全・安心なまちづくり

- ⑯ 防災行政無線機能強化事業 (369,000千円)
- ⑰ 民間木造住宅耐震改修等補助金 (5,000千円)
- ⑱ 災害時通信体制強化事業 (1,430千円)
- ⑲ たん水防除事業 (大塚地区) (2,600千円)

こども子育て施策の充実

- ⑳ 学校給食費無償化事業 (50,108千円)
- ㉑ 小中高等学校入学祝金支給事業 (3,302千円)
- ㉒ こども計画策定事業 (6,889千円)
- ㉓ 不妊治療助成事業 (3,200千円)



健康ビジョン加速化事業

本町の高齢化率はR4年度38.5%と県平均より7.3ポイント高く、2045年には人口の54%以上が65歳以上となる見込み。
また、R4年度70～74歳の生活習慣病の有病者は80%を超えており、高齢になるにつれ疾病の重症化や心体の活動低下が懸念。
このような状況を打開すべく、4課合同で健康事業について加速的に取り組む。

(1) 人間ドック助成事業

- ・ 精密な健康検査
(生活習慣病発症予防)
(生活習慣病重症化予防)
(がん等の早期発見)

助成額の拡充による
利用促進

健康寿命の延伸
医療費適正化

(2) 健康診査受診者 インセンティブ事業

- ・ 生活習慣病に着目した
健康診査
(生活習慣病発症予防)
(生活習慣病重症化予防)

インセンティブ付与による
利用促進

健康寿命の延伸
医療費適正化

(3) がん患者アピアランスケア 用品購入費助成事業

- ・ 医療用ウィッグや
乳房補正具の助成

費用助成による
負担の軽減

がん患者の
経済的・精神的負担の軽減
社会生活の復帰支援

(4) フレイル・介護予防推進事業

- ・ フレイル、介護予防教室
(運動、口腔、栄養)の実施
- ・ いきいき百歳体操の利用促進

効果的な事業展開による
支援の拡充

高齢者の健康寿命の延伸
介護給付適正化

(5) 軽・中等度難聴者補聴器 購入費助成事業

- ・ 軽・中等度難聴者へ補聴器
購入費の助成

費用助成による
負担の軽減

高齢者の経済的負担の軽減
社会参加・地域交流の促進

(6) 緊急通報体制整備事業

- ・ 緊急時通報システム
- ・ 心身や健康相談・安否確認
- ・ 緊急出動要請や入院調整

モバイル導入による
利便性の拡充

高齢者の安心生活を確保
相談体制の充実

4課合同実施

いきいき健康課

追加事業費
(1)757千円
(3)380千円

町民課

追加事業費
(2)0千円(交付金有)

介護課

追加事業費
(4)237千円

福祉課

追加事業費
(5)606千円
(6)418千円

誰もが地域で健康かつ安心した生活を送れる体制の確保

